

5月31日

奥州台湾合作短編映画
「アップルパイ」特別賞受賞

イベント



台湾との観光・文化交流の促進を目的として昨年制作した「アップルパイ」が、東北映像フェスティバル 2018 映像コンテスト地域振興コンテンツ部門特別賞を受賞しました。李孔尉監督からもお祝いメッセージをいただくなど、台湾との交流促進に向け幸先の良いスタートになりました。

6月1日

安全な水道水ができるまで

イベント



第 60 回水道週間（6 月 1 日～7 日）にちなみ、市内水道施設見学会が胆沢地域で開催され、市民 22 人が胆沢ダム管理支所やダム堤体、たんこう浄水場などを見学しました。きれいな水道水がつくられる過程を見学し、安定供給を支える水道施設や事業への理解を深めました。

6月3日

夏山シーズン到来

イベント



江刺と住田町にまたがる種山高原の山開きが行われました。朝から好天に恵まれたこの日は、関係者による神事とテープカットの後、郷土芸能披露や本市と住田町のキャラクターによるイベントが繰り広げられ、ツツジ満開の高原にたくさんの笑顔と歓声が広がりました。

6月10日

真剣勝負で活気を呼び込む

イベント



市観光物産協会衣川支部主催の初夏のジンバ祭りが衣川の歴史ふれあい館で開催されました。結成 10 年を迎えた奥州衣川青凛会が「真剣勝負」をテーマに歴史講演を披露。地元児童で構成する輝凛会の講演やツジヤマガクさんのウクレレ音楽ライブも行われ、来場者を楽しませました。

6月10日・17日

有事に備え日頃の訓練の成果を競う

イベント



消防機器の操作技術向上や消防精神の錬成を図ることを目的に、市消防競技会各方面隊大会が各地域で行われました。消防ポンプ操法と部隊訓練競技に 36 分団から約 1,500 人が参加。団員たちは、声を掛け合いながら動作の確実性や放水までのスピードを競い合いました。

6月14日

大地震の教訓を次代へ

イベント



岩手・宮城内陸地震から 10 年を迎えたこの日、北股地区自主防災会連合会主催の防災訓練が行われました。震度 6 強の大地震が発生した想定の下、避難誘導や安否確認などの訓練を実施。県防災指導車「防災そばっちゃん」を使った地震体験、煙体験も行われ、災害対応力を高めました。

6月3日

水田をキャンパスに地元☆を表現

イベント



田んぼアートの田植えが水沢佐倉戸字北田の水田で行われ、地元の小中学生ら 200 人余りが参加しました。今年の題材は大谷翔平選手。6 品種の苗を使い、打者と投手の二刀流を描きます。子どもたちははだしで田んぼに入り、泥んこになりながら作業しました。見頃は 7 月～8 月です。

このイベントは市民提案型協働支援事業補助金を活用して開催されています

6月7日

「グッド・トイ」受賞を市長に報告

訪問



全国約 6,000 人のおもちゃコンサルタントが選ぶ「グッド・トイ 2018」林野庁長官賞に、前沢のきこり工房（鈴木和信代表）制作の「創造力を養う組み木クリオネ」が選ばれ、小沢昌記市長に受賞を報告しました。鈴木さんは「賞に恥じないような物を作っていきたい」と思いを語りました。

6月10日

伝統の水沢商人の祭典

イベント



第 64 回水沢商人まつり（奥州商工会議所主催）が水沢駅通りを歩行者天国にして開催されました。地元商店などによる出店のほか、市内中学校吹奏楽部の演奏、水沢 42 歳・25 歳厄年連の演舞などさまざまな催しが行われ、家族連れなど多くの市民で会場はにぎわいを見せました。

6月23日・24日

3万株が色鮮やかに

イベント



第 23 回胆沢城あやめ祭りが国指定史跡胆沢城跡で行われました。この祭りは、あやめ苑のハナショウブを鑑賞しながら、鎮守府胆沢城があったこの地域の歴史を知ってもらおうと毎年開催。夕方には約 1,200 個の夢あかりがともされ、来場者は幻想的な光景に目を奪われていました。

6月29日

地域内で経済を回す「循環型経済」のススメ

市政



市は、市民モニターの協力を得て昨年実施した「奥州市民家計調査」の報告会を行いました。報告では、各世帯での市内産品購入が約 8 %にとどまることが明らかに。講師の中澤秀雄中央大学教授は、市内産品の消費拡大が市内の雇用や所得の向上につながることを説明しました。

6月29日

佐々木ハツさん 100 歳（胆沢小山）

長寿



衣川増沢に生まれ、17 歳で故・亀之助さんと結婚。4 男 2 女をもうけ、孫 8 人、ひ孫 7 人に恵まれています。若い頃は、片道 2 時間以上の道のりを馬に米を積んで歩いて炭と交換したり、炭を売り歩いたりしました。次男の宏さんは「非常に働き者で優しい母です」と感謝し長寿を祝いました。